

2013～14年度

委員会活動方針 ならびに実施計画

<クラブ奉仕委員会>

委員長 中村 清嗣

活動方針

クラブ奉仕部門各委員会の活動方針を把握して各委員会が円滑に活動できるようにし委員会間の連携を良くし委員長をサポートし協力してクラブの活性化に努める。

実施計画

- ・クラブ奉仕部門委員長会議を前期・後期に各1回行なう。
- ・各委員会が十分に活動できるようフォローする。

<職業分類・会員選考・会員増強委員会>

委員長 三重野正之
副委員長 市平 一

活動方針

現状の継続では会員の年齢上昇がみられるため若手会員の男性・女性の増強が必要である。

実施計画

- ・地区においては3名の増強を目標としているが、1名でも多くの会員増強を目指す。

<ロータリー情報・IT委員会>

委員長 八百 正浩
副委員長 中野 均

活動方針

2013年度規定審議会での改正点を会員に伝え、より深くロータリーに対する理解

を深められるよう活動を行う。

実施計画

- ①新年度のHPの更新を行う。
- ②最新版の手続要覧の購入を全会員に勧める。
- ③7月に行われる会員親睦会の前、約1時間で大型のIMを行う。テーマは、ロータリーに対して各会員が抱えている夢について語り合う。
- ④下半期に事務所にて小型のIMを行う。テーマ・日程は決まり次第会員にアナウンスする。
- ⑤卓話の時間など機会を見つけて会員に最新の情報を提供していく。
- ⑥新入会員予定者には、その都度、適正なインフォメーションを行う。

<出席委員会>

委員長 城戸八重子
副委員長 桑原 哲

活動方針

例会に出席することは最大の義務であり、奉仕も親睦も、まず出席からと認識してもらい、出席率の向上に努めます。

実施計画

- ・毎例会に出席報告を行います。
- ・会員の出・欠を分かりやすく表にして張り出し、メーキャップを勧めます。
- ・皆出席者に表彰と記念品を贈呈する。
- ・国際大会、地区大会、IMをはじめ、その他の活動への参加を呼びかけます。

<記録会報委員会>

委員長 咲山 旭
副委員長 橋本 勝也

活動方針

会報を通じ会員にクラブとロータリーの情報を正確に伝達し、ロータリーの理解と会員相互の親睦を図る。クラブの歴史として、遺漏の無いよう記録に努める。

実施計画

- ・週報の表紙の色と綴じ込みファイルを新しくする。
- ・例会毎の当番を輪番制にし、当日担当者が欠席の場合は原則次週担当者が交代する。
- ・会員の発表、発言の内容の正確さを期するため、必ず原稿の提出をお願いする。

<親睦活動委員会>

委員長 奥野 眞一
副委員長 芝山 秀樹

活動方針

会員の融和を図り、親睦活動の重要性を認識し、会員および家族を含めた交流を密にして、健全なる楽しい活動を進める。

実施計画

- ①毎月初回例会にて諸々のお祝いを行なう。
- ②新入会員の歓迎会を随時行なう。
- ③他クラブのからのお客様を丁重に迎える。
- ④7月13日に南海グリルで会員親睦会を施す。
- ⑤クリスマス家族会を12月14日にホテル・アゴーラリージェンシー堺にて実施する。
- ⑥4～6月に春の家族親睦会を実施する。
- ⑦その他、親睦活動に必要と認められる活動を実施する。

<雑誌広報委員会>

委員長 林 勝行
副委員長 今野 利雄

活動方針

ロータリーの3大義務の一つ「友誌」を購入、また読む必要性の周知と投稿をお願いする。

実施計画

- ・第二例会時もしくは第一例会時に「友誌」の記事の中より抜粋して会員に紹介する。
- ・入会希望者などに「友誌」を渡し、ロータリーの活動の紹介、また理解を求める。
- ・IT委員会と連携し、広範な広報活動に努める。

<プログラム委員会>

委員長 戸松 生吉
副委員長 江口 祇董

活動方針

楽しく充実した例会のために、全会員の協力のもとプログラムを作成、運用する。

実施計画

- ・会長方針にのっとり、年間スケジュールを作成する。
- ・担当会員の責任と推薦により、外部卓話も導入する。
- ・会員間の連絡を密にし、スムーズな運用をはかる。

<職業奉仕委員会>

委員長 今野 利雄
副委員長 芝山 秀樹

活動方針

会員個々において、自己の職業を通じ職業奉仕に対する理解を深め実践を行う。

実施計画

- ・四つのテストが、会員の仕事や職業だけでなく、さらに広く一般社会にも用いられるように、その普及を促進する。
- ・職業奉仕が行われている職場見学会を通じ、自己の職場の職業奉仕を見直す機会とする。

<社会奉仕委員会>

委員長 藤田 隆生
副委員長 桑原 哲

活動方針

地域社会に密着した奉仕活動を実施し、

積極的に行われているプログラムを重視する。

実施計画

- ・インフォメーションを行ない、全員に理解と協力をお願いする。
- ・交通安全運動、火災予防週間に協力する。
- ・インターアクトクラブと献血キャンペーンを行う。
- ・「陵東館長曾根」にてボランティアコンサートを開催する。
- ・識字率向上のため、書き損じ葉書、ポケットコインの寄付を募る。

<青少年奉仕・インターアクト委員会>

委員長 吉澤 逸人
副委員長 遠藤 登

活動方針

今年度より新世代奉仕とIACが一体となって活動を行うようになり、青少年が一層社会奉仕及び国際奉仕に関わって、より良い社会経験が出来るように活動する。

実施計画

- ・IACと青少年の交流支援を行う。
- ・香ヶ丘リベレテ高校IACの行事に参加する。
- ・IACのクラブ会員の増強を支援する。
- ・IACをクラブ例会に招き会員との親睦をはかる。
- ・IACの海外研修を支援する。

<国際奉仕委員会>

委員長 橋本 勝也
副委員長 北野 喜三

活動方針

ロータリークラブ定款、堺東ロータリークラブ細則を遵守し、国際奉仕に関する活動をクラブメンバーへ啓発し、理解と参加を促して奉仕活動（アイサーブ）を促進する。

実施計画

- ・地区協議会の報告をする。
- ・世界理解月間(2月)にインフォメーション

ンを行う。

- ・大阪府立大学での「留学生日本語弁論大会」に参加、支援。
- ・NPO法人エスペランサを通じ、ギニアビサウの中学生1名を里親として引き続き支援する。クラブメンバーにも引き続きアイサーブをお願いする。
- ・ロータリー財団委員会、米山奨学委員会に協力。
- ・国際奉仕に関する情報をクラブメンバーにアナウンスする。

<ロータリー財団委員会>

委員長 中野 均
副委員長 城戸八重子

活動方針

今期から始まる「夢計画」について会員に対し理解してもらうよう説明する。

実施計画

- ・地区の寄付金目標額達成を求めるが、個人においては任意とする。
- ・ロータリー財団月間の11月に財団学友の卓話を要請します。

<米山奨学会委員会>

委員長 佐々木伸二
副委員長 東野 辰治

活動方針

全会員に米山記念奨学会の理解と認識を深めて頂き、堺東RCとして他のRCに誇れるように国際親善に努める。

実施計画

- ・米山功労者、準功労者の拡大に努める。
- ・全会員に地区目標を達成できるように啓発する。

<SAA委員会>

委員長 市平 一

活動方針

伝統ある堺東ロータリークラブに鑑み、秩序を重んじ、明るく楽しい例会となるよう努める。

実施計画

- ・委員の事務局への集合時間は11時40分とし、打合せの上、準備を行う。
- ・例会場のSAAの席は奥に設け、会場全体を把握する。
- ・司会、ニコニコ箱は輪番制とし、ニコニコ係は次週司会者が行なう。欠席の場合は責任を持って次週の方にお願ひする。
①市平 一②松永典子③高松慶暢④吉澤逸人⑤篠田寛人
- ・卓話前の時間は、会員間の交流の時間とする。
- ・毎回の標準食事数を20食とし、高齢の方はリクエストを聞く。
- ・ニコニコ箱の目標額は130万円とする。
- ・親睦活動委員会と連絡を密にし、お互いに協力する。

<会計>

寺山 武夫

活動方針

堺東ロータリークラブ細則の規定を遵守し、厳密・適正な資産管理、会計業務を行なう。

実施計画

- ・堺東ロータリークラブ細則第4条第6節の規定に則り、実施する。
- ・委員会活動資金は、できるだけ予算範囲内で執行されるようにする。
- ・毎月の収入、支出の帳簿及び伝票等の監査を行う。